

# 2021年度 高齢者虐待対応（養護者）

## 基礎（WEB）研修会 開催要領

### 1. 目的

高齢者虐待防止法に基づく虐待対応機関や協力機関等の初任（現任）者が、養護者虐待対応にあたる上での基本（基礎）となる専門的な視点や技術を習得し、実践力の向上を図る事を目的に本研修会を開催致します。

### 2. 開催日・方法

○ 2021年8月21日（土曜日）～8月22日（日曜日）

○ Zoomによるオンライン研修

※注：本研修は、2日間の研修ですので、原則として1日のみの受講では受講修了証を発行致しません。

### 3. 主催 公益社団法人 大分県社会福祉士会 （地域包括支援委員会）

### 4. 定員・対象者

○ 50名程度 ※定員を超えた場合、本会会員を優先させていただきます。

○ 市町村職員、地域包括支援センター職員、総合相談支援センター職員、その他虐待対応協力者、大分県社会福祉士会会員等

### 5. 受講費（資料代含む） ※その他とは社会福祉士以外の職名で従事している者

○ 会員3,000円 ○ 非会員6,000円 ○ その他3,000円

※ご入金が確認されましたらZOOMによる研修に必要なIDおよびパスワードを申込みの際に記入しているアドレスに送付いたします。研修時に用いますアドレスにて申し込みをお願いいたします。

※一度ご入金された受講費は主催者側の判断で中止する場合以外は原則返金致しません。

### 6. 内容（プログラム） 別添1

### 7. テキスト

下記のテキストを使用するので、参加者は各自でご準備して下さい。

1)『市町村・地域包括支援センター都道府県のための養護者による高齢者虐待対応の手引き』 中央法規出版 会員特価は2,574円、通常価格は2,860円です。

2) 日本社会福祉士会ホームページからダウンロードする。

ダウンロード先：日本社会福祉士会ホームページ→トップページ→社会福祉士の皆様→資料室→虐待対応関連情報→高齢者虐待対応（ページ数が199ページありますので、印刷時にご注意下さい。）

## 8. 申し込み方法（締切日：8月4日）

○ 大分県社会福祉士会ホームページの電子申請システムにてお申し込み下さい。

→ <https://oita-csw.or.jp/apply/>

※入力した氏名が受講修了証に転記されますので、ご注意ください。

※受付完了しますとその旨、自動返信でメールの通知があります。届かない場合は再度申し込みをお願いします。

○ 申し込み受付期間：7月13日（火）～8月4日（水）

※8月19日（木）までにZoom参加のURLとパスワードをメールにて送付致します。

メールが届かない場合は下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

## 9. 研修種別・単位数

○ 全てのプログラムを終了した方には、受講修了証を発行します。なお、本研修は「生涯研修制度独自の研修12時間」となります。

<お問い合わせ・お申し込み先>

公社) 大分県社会福祉士会 事務局

〒870-0907 大分県大分市大津町2丁目1番地41号 大分県総合社会福祉会館2階

電話・FAX: 097-576-7071 E-mail: oita-jacsw@axel.ocn.ne.jp

【注】研修当日は、上記事務局に電話をして下さい

# プログラム

## ●1日目

| 時 間                        | 科目名及び講師  | 内 容  |
|----------------------------|--|--|
| 9:00~9:25                  | 受付   |  |
| 9:25 ~<br>9:40             | オリエンテーション  | 開会挨拶<br>プログラム（研修）について  |
| 9:40 ~<br>11:10<br>(90分)   | 【科目1：講義】<br>高齢者虐待防止法と市町村<br>の責務<br>講師：大分県弁護士会<br>能美 知子 | ・虐待防止法の内容と法に定められている市町村<br>の責務を理解する。(1) 養護者による高齢者虐待<br>の捉え方(2) 養護者による高齢者虐待対応への<br>体制の整備(3) 市町村権限の行使   |
| 11:10~11:20                | 休憩   |  |
| 11:20 ~<br>12:20<br>(60分)  | 【科目2：講義】<br>高齢者虐待と権利擁護<br>講師：大分県社会福祉士会<br>梶原 貴久        | ・虐待対応における権利擁護の視点を理解する。<br>・虐待対応の基本的な流れを理解し、虐待対応ソ<br>ーシャルワークモデルの視点とポイントを理解す<br>る。(1) 権利擁護の重要性(2) 高齢者虐待の未<br>然防止・早期発見の取り組み(3) 高齢者虐待対<br>応の基本的考え方と視点(4) 老人福祉法や介護<br>保険法に規定されていない施設における高齢者虐<br>待への対応(5)「高齢者虐待対応帳票」の目的と<br>構成 |
| 12:20~13:20                | 昼食休憩   |  |
| 13:20 ~<br>14:30<br>(70分)  | 【科目3：講義】<br>初動期段階<br>講師：大分県社会福祉士会<br>兵頭 和浩             | ・講義：通報受理、事実確認や緊急性の判断等初<br>動期の対応のポイントを理解する。<br>・演習：「受付」「共有協議」「事実確認」「アセス<br>メント」「コアメンバー会議・計画書」を体感する。   |
| 14:30~14:40                | 休憩   |  |
| 14:40 ~<br>17:20<br>(160分) | 【科目3：演習】<br>初動期段階<br>講師：大分県社会福祉士会<br>兵頭 和浩             | (1) 相談・通報・届出の受付<br>(2) 初回相談の内容の共有と、事実確認を行う<br>為の協議<br>(3) 初動期段階の事実確認<br>(4) 庁内関係部署及び関係機関からの情報収集<br>(5) 高齢者や養護者への訪問調査<br>(6) コアメンバー会議   |
| ~17:30                     | 事務連絡、アンケート記入   |  |

※プログラムは予定です。時間・内容は変更する事があります。

# プログラム

## ●2日目

| 時 間                                     | 科目名及び講師                                    | 内 容   |
|---|--|---|
| 9:10~9:30                               | 受付   |   |
| 9:30 ~<br>10:30<br>(60分)                | 【科目4：講義】<br>対応段階<br>講師：大分県社会福祉士会<br>兵頭 和浩  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：虐待の背景・要因をアセスメントし、支援計画を策定するポイントを理解する。</li> <li>・演習：「アセスメント」「対応会議・計画書」を体感する。</li> </ul>                    |
| 10:30~10:40                             | 休憩   |   |
| 10:40 ~<br>13:50<br>(130分)<br>昼食休憩60分含む | 【科目4：演習】<br>対応段階<br>講師：大分県社会福祉士会<br>兵頭 和浩  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 情報収集と虐待発生要因・課題の整理</li> <li>(2) 情報と虐待発生リスクの関係</li> <li>(3) 虐待対応計画（案）の作成</li> <li>(4) 虐待対応ケース会議</li> </ol> |
| 13:50~14:00                             | 休憩   |   |
| 14:00 ~<br>15:00<br>(60分)               | 【科目5：講義】<br>評価と終結<br>講師：大分県社会福祉士会<br>安部 優香 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義：対応計画の評価と虐待対応機関としての支援の終結について理解する。</li> <li>・演習：「評価」を体感する。</li> </ul>                                      |
| 15:00~15:10                             | 休憩   |   |
| 15:10 ~<br>16:50<br>(100分)              | 【科目5：演習】<br>評価と終結<br>講師：大分県社会福祉士会<br>安部 優香 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 初動期段階の評価会議</li> <li>(2) 対応段階の評価会議</li> <li>(3) 終結段階の評価会議</li> </ol>                                      |
| ~17:00                                  | 閉会挨拶、アンケート記入                               |   |

※プログラムは予定です。時間・内容は変更する事があります。

## ●プログラムの特徴

科目は、高齢者虐待防止法や権利擁護の基本的理解を踏まえた上で虐待対応の流れに即して、初動期段階と対応段階、評価・終結の基本的なポイントを学び、最後に総合演習（総合演習については、当研修会では日程の都合で省略）を行う構成となっています。演習では、行政責任による組織的虐待対応を行う為のツールとして日本社会福祉士会が開発した高齢者虐待対応帳票（虐待受付票、事実確認票、アセスメント要約票、計画書、評価票等）を実際に使用し、より実践的な研修を目指しています。高齢者虐待対応帳票は、日本社会福祉士会のホームページからダウンロードできますので、ご活用下さい。